

YA 通信

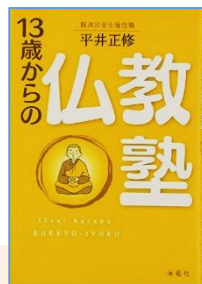
No.69 2016年5月号
春日井市図書館発行

YA(ヤングアダルト)世代=10代のみなさんのための読書情報誌です。ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階YAコーナー所蔵です。



YAコーナーに新しく入った本からピックアップ。

New!!



『13歳からの仏教塾』 平井 正修/著
海竜社 180/シ/15

「仏教」と聞いて、みなさんはどんなイメージが浮かびますか？宗教ってよく分からないし、なんか難しそう！という人もいます。しかし、「学校の勉強って社会に出るから必要なの？」「人前で話すのが苦手…」といった事を思い悩んだ事はありませんか？そんな悩みや疑問に思っていることを解決するヒントが、仏教の考え方にあるのです。ところで中高生のみなさんも、携帯電話を持っている人が多いと思います。いつ誰とでも連絡がとれ、どんな情報もすぐに検索できるのはとても便利ですね。しかし著者は、「情報を浴びているだけの状況ではなく、静かに考える時間をもってほしい」と私たちに伝えていきます。他人の価値観に惑わされず、自分できちんと物事を考えられることが、自立した大人になる一歩です。まずは難しく考えずに、仏教の智慧(ちえ)をのぞいてみてくださいね。



名作たからばこ

『夢十夜』夏目漱石/作, 金井田英津子/画 パロル舎 F/ナツ/99

いわずと知れた日本の文豪、夏目漱石の作品です。この本は、「夢十夜」というタイトルの通り、十の夜に見た夢について書かれています。夜見た夢の話ですから、なんというか分かりにくい。え、これで終わり？なんて話しもあったり。でもそれでいいんです。だって夢ですから。滑稽のようであり、怖くもあり、なんとも不思議な本です。また背景に描かれた絵がまた一層不思議さを醸し出しています。このえも言われぬ感覚、味わってみませんか？



おでかけ

夏も近づき、空は晴れ、緑が冴え渡ってくると、なんとなくどこかへ出かけたくありませんよね。そんな訳で、今回は「おでかけ」特集です。近くでも遠くでも、どこかに出かけたくなる気持ちが強くなる、そんな本を集めました。

『あなたに幸せの魔法をかける ディズニーランドの言葉』 小松田 勝/著

かんき出版 689.5/ア/14 4階一般

入園料の値上げがニュースになりましたが、高くなってもやっぱり行きたい！という人も大勢いるディズニーランド。アトラクションを楽しんだり、キャラクターと写真を撮ったり、季節ごとのイベントなど、ディズニーは様々な魅力でゲスト(お客様)を引きつけてやまないですね。そのなかで、キャスト(従業員)のサービスが行き届いているからこそ、私たちは夢の国を満喫できるのではないのでしょうか。

本書はゲストとキャストから寄せられた、感動したり嬉しかったりしたお話しが載っています。そこにあるのは決められた対応をするのではなく、相手を想って起こしたキャストの行動です。忙しくても大変でもひと手間を惜しまない行動が、相手の幸せな思い出に繋がる—そんな温かさを気づかせてくれます。



『厳選！デザインマンホール大図鑑』 カラーマンホール研究会/編 グラフィック社

518.2/ケ/15 4階一般

マンホールの蓋、じっくり見たことありますか？全国各地、もちろん春日井にも存在する「マンホールの蓋」、いろいろなデザインがあるって知っていましたか？そこには、特産品や名所、歴史や文化などさまざまな思いが込められていて、隠された熱意が存在するんだとか。身近にあるけど意外と知らないマンホールの世界、のぞいてみませんか？

お気に入りの一枚を見つけたら、思い出のマンホールを美しく残すマンホールの撮影方法も教えてくれます！

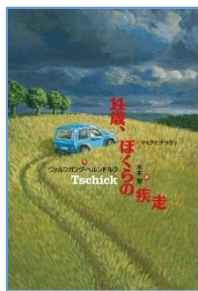


『14歳、ぼくらの疾走』 ヴォルフガング・ヘルンドルフ/作 木本 栄/訳 小峰書房

94/コミ/13

ベルリンに住むマイクは、学校ではただ目立たずにいる友達がいない、退屈な日々を過ごす14歳の男の子。そこへ、ロシアから型破りなで自由気ままな不良少年チックが転校してきます。教室ではほとんどかわりのなかったふたりが、ある出来事をきっかけにルーマニアを目指して旅に出ることに……。ふたりの人生にとって忘れがたい旅がはじまります。

ドイツで大ベストセラーになった、楽しくて切ない青春ロードノベルです。



『星空がもっと好きになる』 駒井 仁南子/著 新光社 442/ホ/11

少しずつ暖かくなってきたこの時期、星空を見に出かけませんか？

この本には、見る場所から見る時期にあわせた服装、私たちに一番身近な12星座のお話まで星に関するいろいろな情報が書かれています。

「星なんてロマンチックなことっていられないよう・・・」という男子諸君！！ふと好きな女の子が、あの星なんて名前だろう・・・って言ったらどうしますか？(こんな少女マンガ的場面ないかもしれないけど・・・) スマホをみて「え〜っと」って答えるより「あれは、アンドロメダっていう星だよ」ってスラスラ言えたほうがスマートだと思いませんか？



ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会さん)



『精霊の守り人』 上橋菜穂子/作 偕成社 913/カイ/15

3階児童

映像化にあたり読み直してみました！

本との相違点を探すのが面白い。語られる物語の中の国の独創性は、見るだけでは理解できないと思うし、時の権力者に歪められる事は現実そのものです。皇子チャグムに宿った「ニュンガロイム」の卵の謎。逃れられない運命を背負った女用心棒バルサをはじめとする人物の生きざまを、文字とともに楽しんでください。

話のタネに！



皆さんは人工知能をご存知ですか？最近、人工知能が囲碁の対決でプロに勝利したことで話題になりましたね。少し前までは、プロに勝つには後 10 年はかかると考えられていましたが、技術の進歩により皆の想像よりずっと早く勝利を収めることとなりました。そのほかにも絵画を作ったり小説を書いたり私たちが想像しなかった時代になってきた気がしますね。さて、みんなの想像を超えて発展する人工知能は、これからどうなっていくのでしょうか？今回はそんなこれらについて書かれた本を紹介します。

『東大准教授に教わる「人工知能って、そんなことまでできるんですか？」』

松尾豊, 塩野誠/著 中経出版 007.1/ト/14 **4階一般**

対談形式で進むこの本は、そもそも人工知能とはなにかと言う話から今後どうなっていくのかと言う話まで、人工知能についてこれでもかと語っています。

社会的な観点から問題を提起されると、何だか私たちの身近に迫っているのだなあと感じますね。

『ロボットは東大に入れるか』 新井紀子/著 イースト・プレス 00/ロ/14

ロボットは東大に入れるか、をテーマに、人間と人工知能の考え方や認識の違い、人工知能の現状などについて書かれています。近年ものすごい勢いで発達する人工知能には何が出来て何が出来ないのか、人間が勝っている部分はどこか。そして将来私たちとの関係はどのようになっていくのか。

『われはロボット』 アイザック・アシモフ/著 小尾芙佐/訳 早川書房 933.7/ワ/13

ロボットが身近になった世界。有名な「ロボット三原則」によって管理されているロボットたちですが、なぜか不具合が起きて…といった話の短編集となります。半世紀以上前の作品が、今も影響を持ち、実際に人工知能の課題として扱われていると思うとなんだかすごいですね。



YA担当イチオシ!



『世界の美しいフクロウ 神秘的なポートレートと生態』

マリアヌ・テイラー/文 , アンドリュー・ペリス/写真 グラフィック社

488.7/セ/14

4階一般

どんな本?

フクロウの歴史や生態、基本構造までフクロウに関することが細かく書かれています。また36種類ものフクロウの、特徴・狩りなどが細かく記載されています。ハリー・ポッターで有名となった「シロフクロウ」も登場しますよ。

ここがオススメ!

最近、「フクロウカフェ」なるものが登場したり、ペットとして飼育されたりと、私たちに身近になりつつあるフクロウですが、その生態や生息地まで知っている方は少ないと思います。この本には、鳴き声までもが書かれているのでフクロウについて詳しく知りたい方にはもってこいです。(もちろん、それ以外の方にも見ていただきたいですが・・・)

また、難しい漢字にはふりがながふってあり、用語解説のページももうけられているので、読みやすくなっています。

YA(ヤングアダルト)コーナーって?

図書館3階雑誌コーナーのとなりです。たとえば、こんな本があります。



春のまち春日井「読書くん」

- ◎10代向けの小説・読み物
- ◎勉強・進路・職業に関する本
- ◎いろんな悩みの解決に役立つ本
(学校生活・友だち・恋愛・家族・心と体 など)
- ◎自分の世界を広げるための本(趣味やスポーツ)

「〇〇について調べたい!」
「△△の本はどこ?」など、
本に関する相談や探し物は
職員に気軽に聞いてみてね。

春日井市図書館

春日井市鳥居松町 5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp/>

ケータイサイトはQRコードから→



小・中学校のホームページからも
アクセスできるよ

バナーをクリック→

